



プレスリリース 令和6年12月25日(水)

島根県立美術館 電話：0852-55-4700

【取材・撮影についての問い合わせ】

山根・島田・三浦（広報）

誰もが、
たからもの。
言葉かの、
。

【予告】^{よわい} 齢46からの大ブレイク！前人未到の版本世界！！

永田コレクションの全貌公開〈二章〉 北斎－「葛飾北斎期」・「戴斗期」編

島根県立美術館では、「永田コレクションの全貌公開〈二章〉 北斎－「葛飾北斎期」・「戴斗期」編」を下記のとおり開催いたします。

2017年度、島根県津和野町出身の北斎研究者・永田生慈氏（1951-2018）より、北斎とその門人の作品・資料2,398件が島根県へ寄贈されました。この「永田コレクション」は、北斎に関する個人コレクションとしては世界屈指の規模を誇ると共に、北斎研究上、極めて貴重な作品や資料の宝庫であり、当館では、全四章の展覧会を通じて、その全貌を公開します。本展はその〈二章〉として、北斎の46歳（*）から60歳頃まで、主に用いた画号から「葛飾北斎期」・「戴斗期」とよばれる時期の作品を紹介します。（*年齢は全て数え年）

北斎は40代半ば、今日広く知られている画号・「葛飾北斎」を名のり、「読本」（長編小説）の挿絵を精力的に描きました。曲亭馬琴作の『新編水滸伝』、『椿説弓張月』等の大ヒットを通じて声名を高め、北斎は浮世絵界に確固たる地位を築くこととなります。50代に入った北斎は次いで「戴斗」と号し、次第に門人や私淑者に向けた「絵手本」の刊行に傾注するようになります。森羅万象を描き尽くした北斎畢生の代表作・「北斎漫画」（初編から十編まで）はまさにこの時期に描かれました。

「永田コレクション」には、「葛飾北斎期」で約450件、「戴斗期」で約200件の作品が収められており、本展ではその中から、錦絵、摺物、版本、肉筆画の各分野の作品を一挙公開します（前・後期で展示替え有）。特に北斎が当該期に手がけた読本と絵手本の作品については、細大漏らさず展示します。この両版本で第一人者となった北斎が魅せる、圧巻の「版本世界」を、ぜひご堪能ください！



『鎮西八郎為朝外伝 椿説弓張月 前編』

…北斎読本の代表作。初摺で保存状態完好の逸品



『北斎漫画』（初編）

…西洋画家に影響を与えた北斎の代表作。希少な初摺本

開催概要

展覧会名／ 永田コレクションの全貌公開 〈二章〉 北斎－「葛飾北斎期」・「戴斗期」編

会期／ 2025年【前期】9月10日（水）～10月5日（日）

【後期】10月8日（水）～11月3日（月・祝）

※10月6日（月）、7日（火）は展示替えのため閉室

※前・後期で錦絵と摺物は全点展示替え、版本は展示箇所を変更し、肉筆画は通期展示

休館日／ 火曜日（ただし9月23日は開館）

会場／ 島根県立美術館 企画展示室

開館時間／ 【9月】10:00～日没後30分（展示室への入場は日没時刻まで）

【10～11月】10:00～18:30（展示室への入場は18:00まで）

主催／ 島根県立美術館、SPSしまねグループほか



観覧料／ 2025年夏頃より販売予定 小中高生無料

●オンライン・ローソンチケット〔企画展+コレクション展セット券〕

一般：900円 大学生：600円

※オンラインチケットは美術館ホームページより購入いただけます。

※ローソンチケットは、ローソン各店にてお求めになれます。

●当日券

〔企画展のみ〕

一般：1,000円（800円） 大学生 600円（450円）

〔企画展+コレクション展セット券〕

一般：1,150円（920円） 大学生 700円（530円）

※（ ）内は20名様以上の団体料金

※身体障害者手帳（障害者手帳アプリ：ミライロID）、

療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳を

お持ちの方、及びその付添の方は1名まで無料



《東海道名所一覧》

…戴斗期の数少ない錦絵。精緻を極めた

大型の版画作品です

詳しい展示内容については添付のプレスリリースをご参考ください。

島根創生計画

VI 心豊かな社会をつくる
2 スポーツ・文化芸術の振興
(2) 文化芸術の振興(P.74)



【県HP】

（島根創生を進めるための新規・拡充施策（令和6年度版））

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanessousei/jigyo.data/shinkikakujuR6.pdf>

（島根創生計画）



https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanessousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf

民間の配信サービスを利用し、情報発信する予定です。

以上